

---

# エロにゃん室長物語

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

エロにゃん室長物語

### 【Nコード】

N76090

### 【作者名】

ごはんライス

### 【あらすじ】

まあ何とこのか大輔華子の「エロにゃん受付嬢物語」に對抗。  
20枚完結予定。

勤務先の塾に新しい室長がやってきた。女性である。

前の室長は男でしかもちらかというとスパルタの室長であった。生徒も講師もびびっていた。

だからその新室長を初めて見たとき「あら？」と感じた。なんかオラが。

エロい！なんかエロい！！

オレはひとまず「初めまして。米山飯夫です」と言った。すると、新室長は「猫田です。猫田華子です」と言った。

正直オレは目をそむけたい。新室長はキャミソール姿でしかもノーブラだったのだ。

「ね、猫田さん。塾でその格好は」

「猫田さんなんてやめて。華子って呼んで」

正直、意味わからない。

「この格好は今日だけです。明日からスーツ着てきます」

「そ、そうですか。残念」

「残念？」

「いやそのう」

オレは顔が真っ赤になってしまった。

「この校舎のことよく知りたいわ。飯夫。今日、あたしのアパートに来て」

「は？」

なぜ呼び捨て???

「上司命令よ」

仕方なしに、その夜、校舎を閉めたあと、オレは新室長のバイクの後ろに乗せてもらい、アパートへ向かった。

正直、つらい。新室長はお尻がでかいのでオレの股間に当たる。しかも胸がでかいし、運転が荒いので、つい触ってしまうのだ。

「飯夫のエツチい」

「わ、わざとじゃないですよ!」

弁解するも股間が膨らんでるので言い訳無用な感じ。  
アパートに着く。

正直、このあとのことは書けない。これは児童書なので、あれがあなあって、これがこうなって、にゃんにゃんにゃんなどと書けるものか。PTAに射殺されるわいな。

朝、オレはスーパーのバイトがあるので早めに起きた。新室長は夕方からの出勤だ。  
ベッドの上で上半身裸の新室長がズボンをはいてるオレに声をかける。

「飯夫。コーヒー入れてあげるよ」

「いいよ。ゆっくり寝てなよ。猫田さん」

「いやん。華子と呼んで。飯夫ん」

「米山さんと呼んで!」

オレはともかく、そういう関係になってしまった。週に三回くらいはする関係になってしまった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7609o/>

---

エロにゃん室長物語

2010年11月7日04時24分発行